

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名:

北里道路株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・舗装工事による廃棄物は、自社運搬では法令にのっとり適正に運び、それができない時は産廃処理業者と適正に契約し処理、マニフェスト伝票で確認、品質証明も置き、管理している。 ・現場終了後、ゴミ拾い等の清掃活動、必要であれば草刈りを実施している。			3.9		6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・本社事務所内の照明はLEDに順次切り替え中。 ・CO2排出量を、使用するガソリン、軽油から換算し、月ごとに集計して見える化している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・トラック等大型ディーゼル車を、順次「尿素SCRシステム」搭載車に切り替えている(特にディーゼル車から輩出される有害な窒素酸化物を無害化する)。 ・CO2排出量を、使用するガソリン、軽油から換算し、月ごとに集計して見える化している。			2.4					7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・現場終了後、ゴミ拾い等の清掃活動を行い、必要であれば草刈りを実施している。 ・現場使用資材の在庫管理、破損管理をしている。					6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・トイレトーパーは再生紙を利用し、使用する紙は裏面も利用している。プリンターインクは再生インクを使用している。 ・現場の余剰材料は、可能な限り次の現場に活用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・現場には仮設トイレを設置し、適正に処理している。 ・会社保有地の水源は、清掃等で定期的に管理している。 ・熊本県が定める「舗装の切断作業時に発生する排水処理に関する運用基準」にのっとり、排水を適切に処理している。 ・「くまもとマイ・リバー・サポート事業」に協力している。			2.4		6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・電力を必要とする現場機材等は、太陽光発電付きのものを使用している。 ・社内で使用する紙は、できる限り裏紙を使用している。										9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2		6.4								12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●												11.6 11.7			13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●		・【予定】令和4(2022)年3月までに、令和3年の全CO2排出量の5割程度に対し、熊本県県有林オフセット・クレジットを購入する予定である。					6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●		・現場で使用するプラスチック製品を含む様々な安全用品等は、在庫管理表と破損管理表を整備。破損したものが放置され海洋プラスチックゴミの一端とならないよう、適正処分および啓発に努めている。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●		・会社全体のCO2排出量を見える化し、月ごとの排出量を集計している。 ・【予定】令和4(2022)年3月までに、令和3年の全CO2排出量の5割程度に対し、熊本県県有林オフセット・クレジットを購入する予定である。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

